2008年11月21日
株式会社ラリーアート

スーパー耐久シリーズ2008　レビュー
三菱ランサー7戦全勝
2勝の和田久組三菱ランサーが初タイトルを獲得

ST2クラス(2001～3500cc、4WD)

和田 久選手組　シリーズチャンピオン

車両 三菱ランサーエボリューション

左より砂子 塾長選手/和田 久選手/HINOKI選手

2008年のスーパー耐久シリーズ(通称:S耐)は、前年同様全7戦で開催。昨年同様、富士の4時間、十勝の24時間以外はすべて500kmレースとして行われた。ランサーが区分されるST-2クラスは、排気量2001～3500ccの四輪駆動のクラス。三菱ランサーにとってライバルとなるのはスバル・インプレッサだが、今年はインプレッサがスポット参戦となったこともあり、ランサー同士によるバトルが演じられることがほとんどだった。しかし今年はランサーエボリューションXがデビュー。成熟されたエボIXとの対決もこのクラスの魅力となった。

4月の開幕戦・では、中谷明彦選手組、峰尾恭輔選手組がランサーエボリューションXを投入。エボIXに比べボディサイズがひとまわり大きく車重も軽量化しにくいこともあり、これがどう影響するかに注目が集まった。決勝では予選4位の中谷選手組Xが中盤にトップを奪ったが、終盤に他車両と不幸にも接触してスピン。この脇を和田久選手組が駆け抜けて逆転優勝となった。なお峰尾選手組が3位に入り、ランサーエボリューションXはデビューウィンこそ逃したものの、2位、3位と2台がそろって表彰台を獲得した。そして続く第2戦・仙台ハイランドでは、中谷選手組のランサーエボリューションXが初優勝を遂げた。第3戦・富士は4時間のタイムレースとして開催され、終盤にトップに立った峰尾選手組のランサーエボリューションXが2勝目。3戦を終えた時点でウィナーが3チームと、今年は混戦となりそうな気配があった。

第4戦はシリーズ最長の24時間レースである十勝。この過酷な耐久レースでは、開幕戦優勝の和田選手組が安定した走りで24時間を走りぬき2勝目を挙げた。第5戦・岡山国際サーキットは、和田選手組と阪口良平選手(CMSC山

形）組のランサーエボリューションIXによるバトルが演じられ、阪口良平選手（CMSC山形）組がうれしい今季初優勝を飾った。第6戦・SUGOでは、畠山陽一組がランサーエボリューションXで新規参戦。これでエボXは計3台の参戦となった。レースは和田選手組と服部尚貴選手組の超接近戦が続くかと思われたが、和田選手組が突然スローダウンしてコース脇でストップ。服部選手組がS耐初優勝を果たすことになった。

そして第7戦（最終戦）はもてぎで開催。6台によるチャンピオン争いはとうとう最終戦まで持ち越されることとなった。レースは服部選手組がポール・トゥ・フィニッシュで2連勝。チャンピオン争いは、5位でゴールした和田選手組が3点差で逃げ切って初タイトルを獲得。2位は阪口選手（CMSC山形）組、3位は冨桝朋広選手組だった。ランサーエボリューションXで参戦した中谷選手組は4位、峰尾選手組は5位にとどまった。

阪口良平選手(CMSC山形)組 シリーズ2位
車両 三菱ランサーエボリューション

左より小川 日出生選手(CMSC山形)/阪口 良平選手(CMSC山形)/谷口 行規選手(CMSC山形)

冨桝 朋広選手組 シリーズ3位
車両 三菱ランサーエボリューション

左より冨桝 朋広選手/関 豊選手

中谷 明彦選手組 シリーズ4位
車両 三菱ランサーエボリューションX

左より中谷 明彦選/木下 隆之選手

峰尾 恭輔組 シリーズ5位
車両 三菱ランサーエボリューションX

左より峰尾 恭輔選手/山田 英二選手/鈴木 宏和選手

服部 尚貴選手組 シリーズ6位
車両 三菱ランサーエボリューション

左より白坂 卓也選手/松本 達哉選手/服部 尚貴選手

伊藤 俊哉選手(CMSC山形)組 シリーズ7位
車両 三菱ランサーエボリューション

左より伊藤俊哉選手(CMSC山形)/堀田誠選手(CMSC山形)/丹治 昭善選手(CMSC山形)

添田 正選手組 シリーズ8位
車両 三菱ランサーエボリューション

左より朝倉宏志選手(CMSC栃木)/中村信也選手(CMSC栃木)/添田正選手(CMSC栃木)

■シリーズポイント(全戦有効)

ST-2クラス

順位	ドライバー	車両	Rd1	Rd2	Rd3	Rd4	Rd5	Rd6	Rd7	ポイント
1	和田久組	三菱ランサー	24	10	0	28	16	1	10	89
2	阪口良平(CMSC山形)組	三菱ランサー	0	15	12	12	20	12	15	86
3	冨桝朋広組	三菱ランサー	9	7	1	23	8	18	18	84
4	中谷明彦組	三菱ランサー	18	20	10	15	0	0	3	66
5	峰尾恭輔組	三菱ランサー	15	12	20	9	0	8	0	64
6	服部尚貴組	三菱ランサー	0	–	0	–	12	24	25	61
7	伊藤俊哉(CMSC山形)組	三菱ランサー	12	0	6	23	10	5	5	61
8	添田正(CMSC栃木)組	三菱ランサー	10	0	15	–	–	15	12	52
9	大澤学組	スバル・インプレッサ	–	8	8	–	–	–	8	24
10	畠山陽一組	三菱ランサー	–	–	–	–	–	10	4	14

ポイント　1位から10位まで各20-15-12-10-8-6-4-3-2-1点、予選1位に1点
第1戦、第6戦、第7戦は1位から10位まで各24-18-15-12-10-8-5-4-3-2点
第4戦 24時間レースは1位から10位まで各28-23-18-15-12-9-6-5-3-2点、
12時間経過時の1位に5点

第1戦 4/26～27 鈴鹿サーキット(三重県)
第2戦 5/17～18仙台ハイランドレースウェイ(宮城県)
第3戦 6/14～15 富士スピードウェイ (静岡県)
第4戦 7/19～21 十勝スピードウェイ(北海道)
第5戦 9/6～7 岡山国際サーキット(岡山)
第6戦 11/1～2 スポーツランドSUGO(宮城県)
第7戦 11/15 ツインリンクもてぎ(栃木県)

ラリーアートトップページに戻る | ラリーアートニュースバックナンバー

© Copyright by RALLIART INC.